

求める学生像

自動車、航空機、ロボット、海洋関連機器などの機械やその設計・製造・メカニズムに関心があり、機械工学を学ぶ意欲があり、将来、地域および国内外で幅広く活躍する意欲があることを受け入れ方針として掲げ、次の項目のいずれかに該当する人材を求めています。

(1) 一般選抜（前期日程・後期日程）

全ての科目で十分な基礎学力を有し、特に数学ならびに物理に優れている人。

(2) 総合型選抜Ⅰ

十分な基礎学力を有するとともに、高いコミュニケーション能力を持ち、機械工学に対する学習意欲が強い人。自らの目標に向かって主体的に物事を考え、積極的に活動してきた人。

(3) 学校推薦型選抜Ⅱ

十分な基礎学力を有し、高等学校において優秀な成績を修め、積極的に活動してきた模範的な人。機械工学に対する強い向学心を有する人。

※他に、社会人特別入試、私費外国人留学生入試、第3年次特別編入学入試も実施しています。
※詳細は各入試の募集要項で確認して下さい。

入試方法



選抜方法・区分		定員（目安）	(1) 大学入学共通テスト	(2) 個別学力試験等	出 願
一般選抜	前期日程	32 名	5 教科 7 科目 (又は 5 教科 8 科目)	数学・物理 調査書	工学科全 7 コースの 志望順位を記載
	後期日程	6 名	3 教科 5 科目 (又は 3 教科 6 科目)	調査書	工学科全 7 コースの 志望順位を記載
特別選抜	総合型選抜Ⅰ	6 名	なし	面接、口頭試問、 プレゼン、調査書等	志望コースのみ記載 評定平均 3.5 以上
	学校推薦型 選抜Ⅱ	11 名 (専門高校枠 2 名)	3 教科 5 科目 (又は 3 教科 6 科目)	面接 調査書等	志望コースのみ記載 評定平均 3.5 以上 推薦人数の制限無し
	社会人	若干名	なし	面接	志望コースのみ記載
	私費外国人 留学生	若干名	なし	面接、口頭試問	志望コースのみ記載

※日程等の最新情報は上記の 2 次元バーコード（もしくは <https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/>）

主な進路先

県内

沖縄電力、沖縄ガス、日本トランスオーシャン航空、沖縄銀行、拓南製鐵、拓南製作所、サンエー、オリオンビール、沖縄セルラー電話、沖縄富士通システムエンジニアリング、沖縄日立ネットワークシステムズ、クオリサイトテクノロジーズ、MRO Japan、沖縄電グローバルシステムズ、オカノ、ヤシマ工業、沖縄県庁、他

県外

日本航空、本田技研、京セラ、アイシン・エイ・ダブリュ株式会社、三菱自動車工業、トヨタプロダクションエンジニアリング、NOK、山九、NTN、日本エアコミューター、富士通九州システムサービス、三菱鉛筆、東芝インフラシステムズ、長崎キャノン、高木製作所、九電工、アルプス技研、TOWA、ジェイテクト、VSN、他

進学

琉球大学大学院、九州大学大学院、東北大学大学院、愛媛大学大学院、芝浦工業大学大学院、鹿児島大学大学院、長崎大学大学院、他

取得に有利な資格

国家資格	高等学校教員免許（工業）	在学中に必要な科目を履修
受験して得られる 国家資格	技術士、自動車整備士、航空整備士、機械設計技術者、ボイラー技士、航空無線通信士、危険物取扱試験、基本情報技術者試験、他多数	本コースの科目内容が主に出現される (一部、実務経験が必要)

琉球大学工学部工学科機械工学コース

<http://mechsys.tec.u-ryukyu.ac.jp/mech/>

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

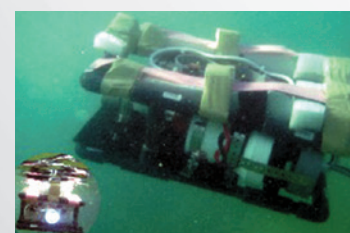
コース事務室 TEL：098-895-8637 / FAX：098-895-8636



琉球大学 工学部 工学科 機械工学コース

Mechanical Engineering Program
School of Engineering, Faculty of Engineering,
University of the Ryukyus.

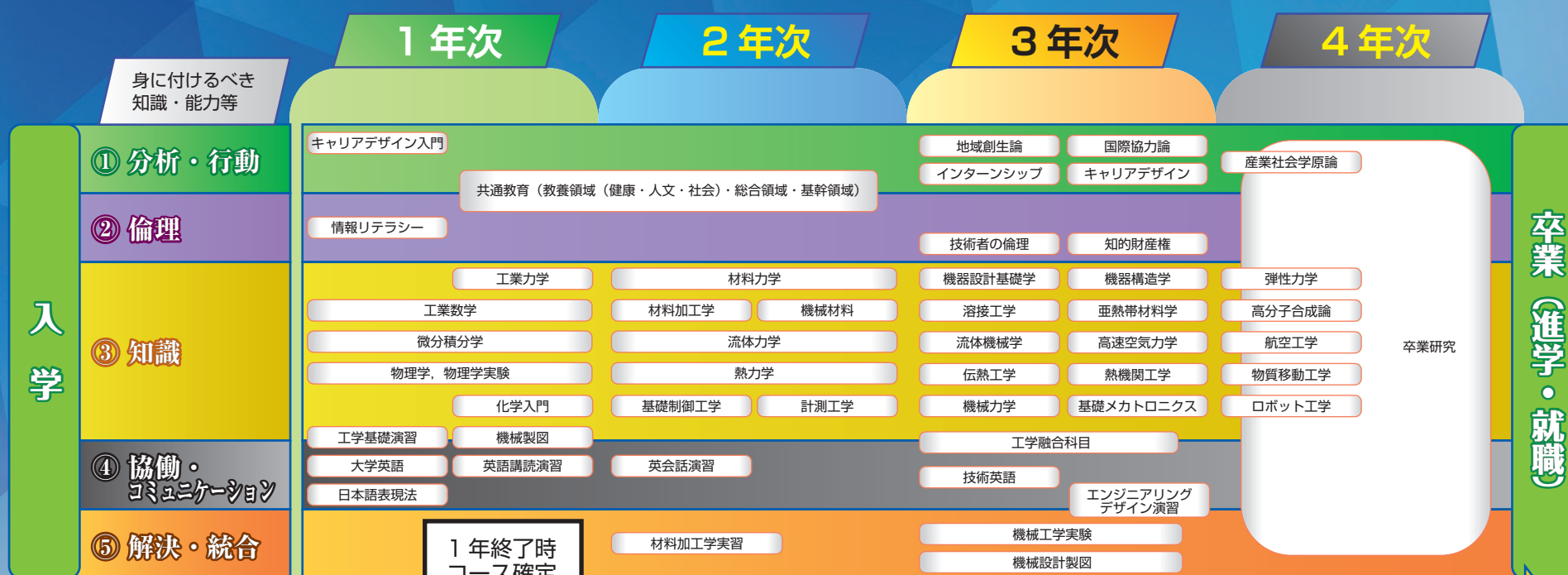
機械工学コースは近年の社会ニーズを踏まえ、次世代の機械技術者を育成するためのコースです。機械工学はあらゆる産業の基幹となる重要な学問分野であるため、就職先のニーズも高く、様々な分野で活躍できます。



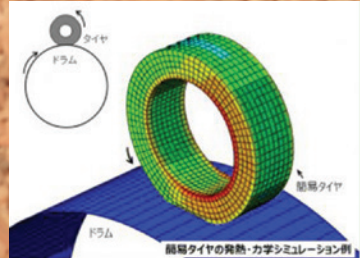
2020 年度版

機械工学コースでの学び

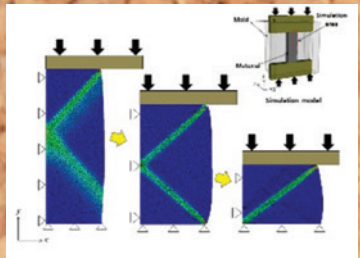
機械工学の各基幹分野（材料力学、機械材料及び加工学、流体力学、熱力学、機械力学、制御工学）を学ぶとともに、ものづくりに関する科目を初年次から高年次にかけて体系的に学ぶことができます。また、グループワークによる実践的な科目を複数開講し、自立したものづくり能力、コミュニケーション能力、問題解決能力等を育み、自然と共生し、社会の持続的発展に寄与できる実直な技術者を育成することを目指します。



機械工学の研究(例)

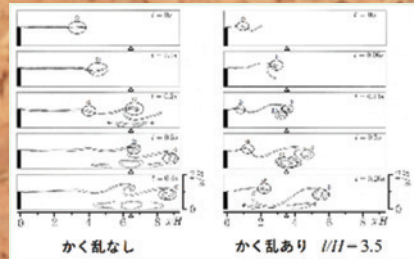


タイヤのシミュレーション




圧縮変形のシミュレーション

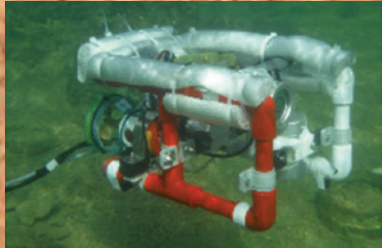
広範な機械工学の基礎を学ぶことで、輸送機械（自動車、航空機等）、工作機械、材料、エネルギー、電気機器、精密機械、ロボット、IT、食品、医療・福祉機器等の様々な分野で応用可能です。



流れと渦の制御



太陽熱集熱器の開発



海洋ロボットの開発

学生の声

機械工学コース
福田 響 3 年次



機械工学コースでの学習は年次が上がるごとに楽しくなっています。講義についていけないかと最初は不安になってしまいましたが、時間が経つにつれて専門的な内容が増えていくので自ずと自分の学びたいことが見つかり、モチベーションに繋がっていきますよ！先生方のサポートも厚く、メール等でいつでも相談できるので学びの環境として非常に充実していると思っています。勉強が楽しいものであるという実感も、一緒に体験してみませんか？

各基幹分野の基礎科目を身につける！

各基幹分野の応用科目を幅広く学ぶ！！



工学基礎演習



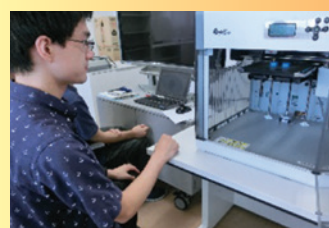
材料加工学実習



機械工学実験



機械設計製図



エンジニアリングデザイン演習

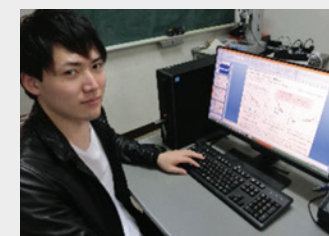
研究キーワード

金属疲労、材料の損傷検知、材料の接合と破壊、ゴムのシミュレーション、亜熱帯資源（バガス、月桃等）を用いた複合材料、高分子工学、無機材料、超音速流れ、衝撃波、ジェットエンジン、数値流体力学、乱流制御、流れの可視化、流体計測、マイクロバブル、熱物質移動工学、太陽熱利用、海水濃縮技術、エネルギーの有効利用、内燃機関（エンジン）工学、バイオディーゼル、燃料電池、パソコンの冷却、知的制御、自動車の自動操縦、海洋ロボット、ET ロボコン

企画設計から加工組立までの地域産業に貢献する創造力豊かなものづくりの技術者を養成します。

大学院生の声

機械システム工学専攻
米持 瑛都 2 年次



現在私は、大学院で水素が材料の強度低下を引き起こす水素脆化と呼ばれる現象を、コンピューターシミュレーションを用いて解明する研究に取り組んでいます。皆さんの身の回りの多くの工業製品の設計にはこのシミュレーション技術が大きく関わっています。機械工学コースではこのような製品の設計開発をはじめとし、様々な分野で活躍できる技術者になるための知識を学ぶことができます。機械工学の基礎知識から応用まで 4 年間を通して学び、技術者としてはもちろん人間としても成長できる環境です。一緒に楽しみながらも頑張っていきましょう！

グローバル・エンジニア（GE）プログラム

3 年次開始時に約 10% の学生を選抜し、学部 4 年間＋修士 2 年間で、国際的に貢献できる高度専門技術者を育成するプログラムです。